



ときのまど

時の窓

TOKI NO MADDO

No.182

2015/12/20

最高裁支部青年部結成！！ 「青年を一人にしない」とりくみはじまる



青年部のとりくみ通して、しっかりとフォロー

11月18日、最高裁支部において、青年部が再結成されました。

ランチ会や飲み会をはじめ、青年部の活動を通して、全国から異動してきた青年組合員が、最高裁という繁忙かつ特殊な環境で孤立してしまうことがないようにしっかりとフォローしていきたいとのことです。

青年協としても、生まれたての青年部と一緒に楽しく活動をすすめていきたいと考えています。

↓結成集会のようす



最高裁支部青年部ランチ会(第1回)

最高裁支部青年部は、12月11日、第1回目の集まりとなる「青年部ランチ会」を実施しました。

みんなで自己紹介をした後、山本青年協議長から「人事院勧告の取扱い」について説明がありました。青年協が実施している「暮らしむきアンケート」にとりくむとともに、自分たちのことや各職場の状況等について意見交換をしました。

また、出席者からは、地元支部から「青年部の結成、全司法新聞見たよ。」と連絡があったとの報告がありました。

「全国から異動してきた青年組合員を一人にしないとりくみ」の第一歩が踏み出されました。



意見交換の充実や自己負担の解消等 最高裁当局を追及！

総研生 アンケート 結果報告

アンケート結果（一部抜粋）

Q. 研修カリキュラムについて、何か意見や改善してほしい問題点がありますか？

- ・外部講師の講義の際に休憩がない。
- ・年間スケジュールがわからない。
- ・教室や机が狭い。冷房が効いていない。

Q. 実務修習について、何か意見や改善してほしい問題点がありますか？

- ・事前研修で意識する点がわからない。
- ・パソコンを貸与してもらいたい。
- ・具体的に見てくることを原庁が予定表を作る前に総研から原庁に伝えてもらいたい。

Q. 「修習日誌」は必要だと思いますか？また、意見や改善してほしい問題点がありますか？

- ・率直な意見を述べにくい。
- ・試験期間は免除してもらいたい。
- ・改善を求めてもフィードバックがない。

Q. 総研の設備・備品について、何か意見や改善してほしい問題点がありますか？

- ・模範六法を配布してほしい。
- ・コピーを無料にしてもらいたい。
- ・通所生用のロッカーが小さい。

Q. 教官、事務局に対する意見などはありますか？

- ・講義中のパソコン使用を認めてほしい。
- ・パワポを使用した場合は、講義後に印刷したものを配布してほしい。
- ・事務局の総研生に対する態度が厳しすぎる(周辺住民のクレームについて原因がすべて研修生だけにあるように指摘したり、必要な用件であっても邪険に扱われることがある。)

Q. (第一部生、第二部生(第11期)に対しての質問です。)

「振り返りシート」は必要だと思いますか？また、意見や改善してほしい問題点がありますか？
※必要・不要両意見あり。

Q. (総研入寮生に対しての質問です。)
総研での寮生活について、何か意見や改善してほしい問題点がありますか？

- ・門限の撤廃。
- ・インターネット環境を整備してほしい。
- ・土日の食堂は毎回営業してほしい。

Q. その他、問題点や改善してほしいことがあれば自由に記入してください。

- ・委員業務の見直し(任意の委員であるにも関わらず、設置されていることを前提に仕事が振られる。)
- ・寮個人部屋の空調の温度を適切なものとしてほしい。

2015年11月9日 最高裁交渉 青年協の主張（抜粋）

裁判所職員総合研修所の運営について、研修生ときめ細かに意見交換をはかり、研修生の要望等をふまえたものとするを求める。

従前から要求している事務局から総研生への情報提供の迅速化については、一定の改善がみられると意見があがっていることは青年協としても評価している。

この交渉に先立ち、書記官養成課程1部・2部生にアンケートを実施したところ、52名からの回答があった。また、そのアンケートに基づき個別に事情等も聴いている。

今回のアンケートや聞き取りにおいては、総研生の切実な要求や当局側からの丁寧な説明が不足しているために発生していると伺われるものまで多種多様な意見が出されている。

特に、六法の貸与やコピー機の無料化など、研修に真に必要なものについて自己負担が生じているという実態を解消されたい。また、研修棟におけるシュレッダーの整備を求める声も上がっている。

さらに、門限等の生活面についても柔軟な対応を求める声が上がっている。

現在ある記名式の研修日誌や、寮長を通じた意見集約では、研修生の要望が十分に聞き入れられていない。無記名式の目安箱を設置するなど、最高裁においては、研修生からの要望をより広く聞く仕組みを検討し、丁寧に回答、説明するなど、研修生と総研の間で双方向の意見交換がなされるようにされたい。

【最高裁回答】

研修日誌については、研修生との意見交換のツールとして活用しているため、思ったことはそのとおりに書いてもらって構わない。なお、主張された要望については、総合研修所に伝えることとしたい。

編集後記みたいなもの

上記のほか、アンケートで発覚した個別の問題については、別途情報収集し、対応しているものもあります。

アンケートの配布や集約をいただいた組合員有志のみなさん、また、アンケートにお答えいただいたみなさん、ご協力本当にありがとうございました。

次号予告

東北・中部青年部長会議など